

# トップガンジャーナル



## 理数クラブ

*Journal of TopGun*

第8号

### 活動レポート

前7号では、附属浜松中学校と蜷塚中学校の緑地を対象に、環境省が教育用に奨励している方法を用いて、二酸化炭素吸収量を推計し、その吸収量もつ意味を考察したものです。校庭の緑地がもつ環境保全機能を定量的に評価する試みであることと、2つの学校の生徒が協力している点に注目して読んでいただけるうれしいです。

さて、今回は、「天神森の追究」における**コース2.「自動撮影カメラを使った動物の観測」**の紹介です。

ここでは、都市に囲まれた緑地である「天神の森」は、様々な動物が利用しています。動物が発する赤外線に反応して撮影する自動撮影カメラを使って、「天神の森」のどんな環境をどんな動物が利用しているのかを探究します。

夏休み交代で、暗視カメラのSDカードを交換し、映っている動物を確認しとその特徴を考えていきました。

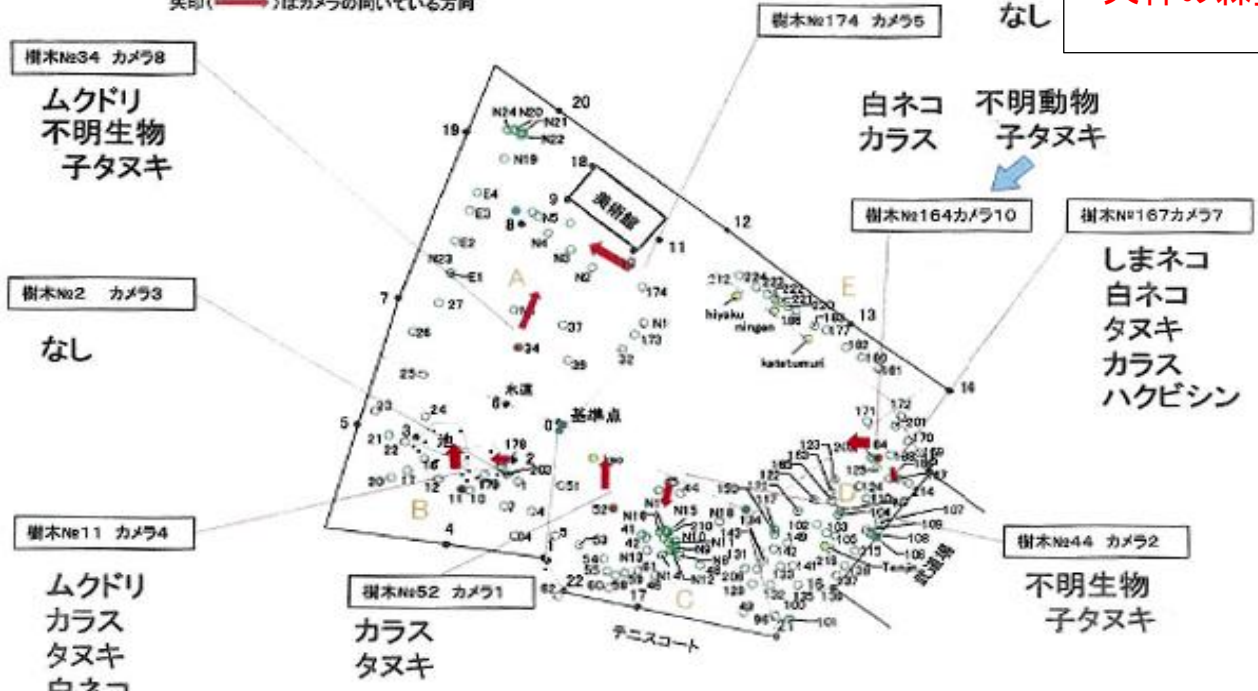
ここでも、蜷塚中科学部が同じ方法で追究をしています。蜷塚中「しじみんの森」で発見した動物とともに紹介します。

次のページの上の図が、附属浜松中学校「天神の森」に取り付けた暗視カメラとそこで撮影された動物です。下の図が浜松市立蜷塚中学校「しじみんの森」で同じ時期(7月～8月にかけて)観察された動物です。

蜷塚中学区にある2校の森にどんな動物がいるのかつかめてきました。今後は「森のどんな環境をどんな動物が利用しているのか」探究が始まります！

静岡大学教育学部附属浜松小・中学校「天神森」 暗視カメラで観察された動物  
矢印(→)はカメラの向いている方向

「天神の森」



「しじみんの森」



編集部子ども記者より

カメラに写った生物の活動範囲やフィールドサインなどを探したい。また、生物の活動の中心である「池」の探索やなぜ「池」に集まるのかも追究していきたい。  
トップガンジャーナル子ども記者 中学1年 飯田会修・小泉和希